

令和7年度 塩筑教育会文化財研究会 活動報告



本年度の体制

会員数 7 名

会長 竹下俊明先生（榑川小中学校）

事務局 臼田岳大（丘中学校）

これまでの主な活動（夏の自主研修会）

R 4 「塩尻宿の今を訪ねる」

R 5 「奈良井宿の今を訪ねる」

R 6 「松本市立博物館を訪ねる」

…地域の文化財を訪ね、見識を広げる
活動

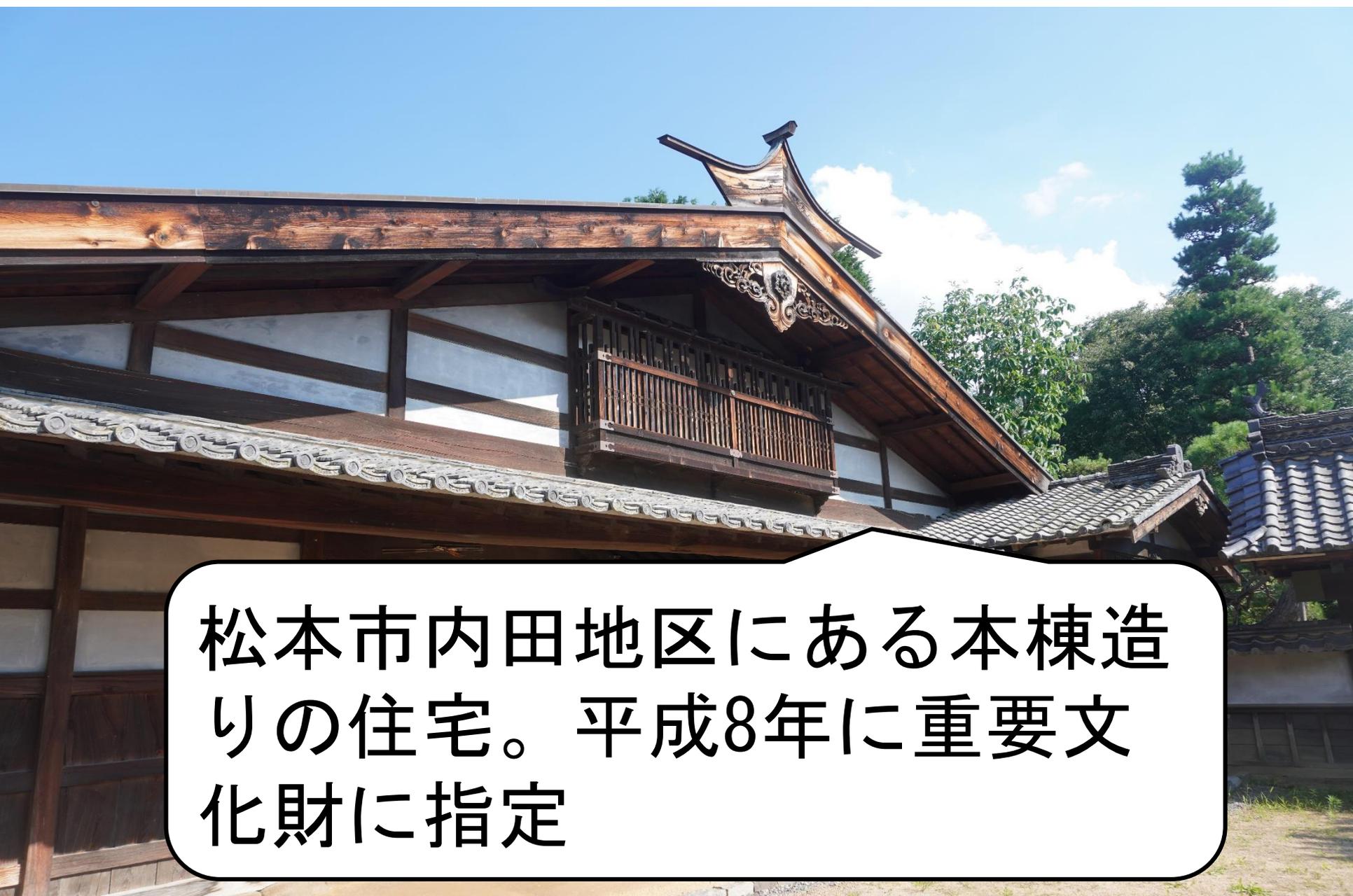
本年度の活動

6月29日（日） 塩筑松本地区合同臨地研修
「弾誓（たんぜい）上人ゆかりの寺を訪ねて」

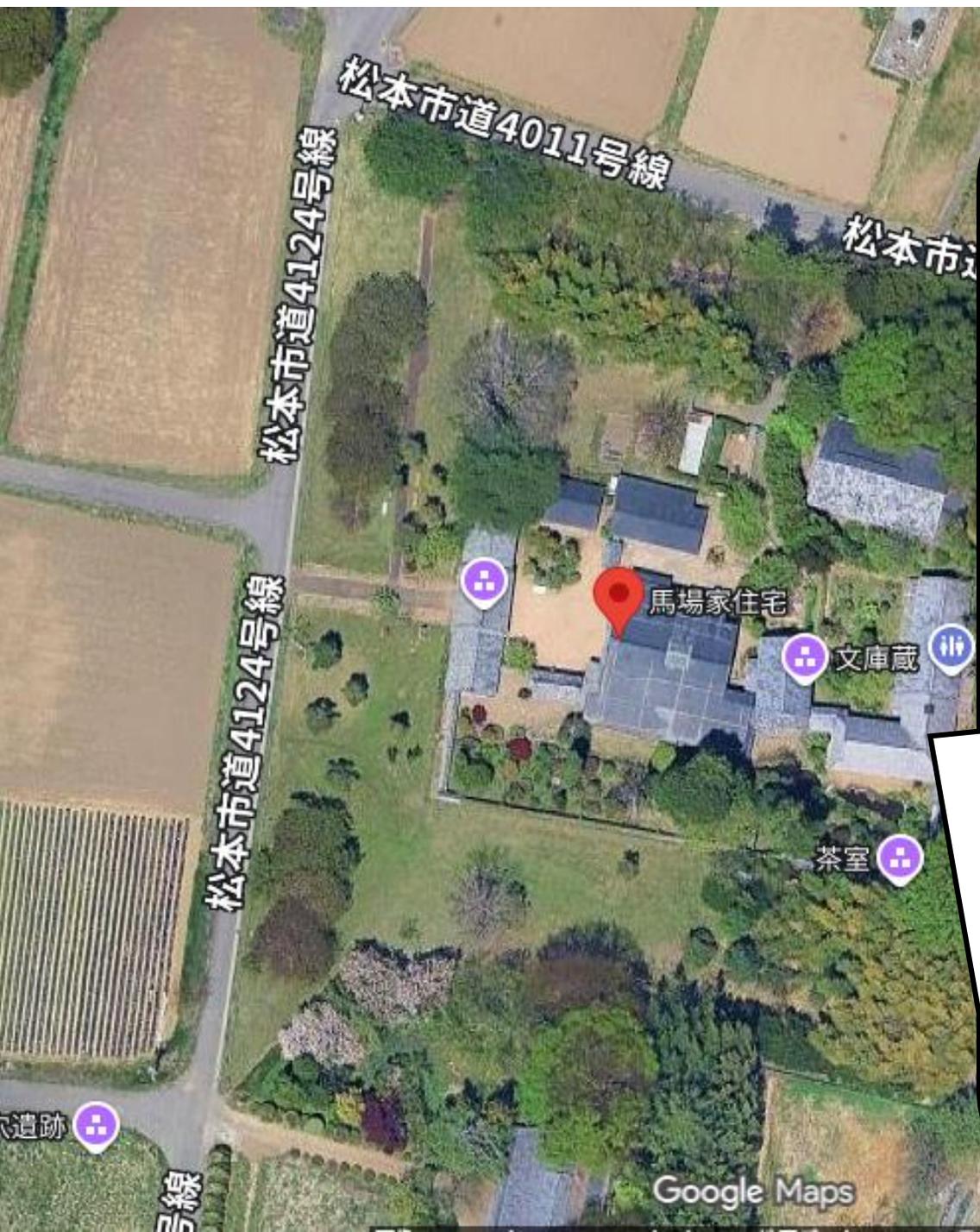
7月30日（水） 自主研修の日
「重要文化財 馬場家住宅を訪ねて」

8月6日（水） 塩筑松本地区合同臨地研修
松本市立博物館 企画展見学
「地獄の入り口～十王のいるところ」

自主研修「重要文化財 馬場家住宅を訪ねて」



松本市内田地区にある本棟造りの住宅。平成8年に重要文化財に指定



土塁で囲まれた
た広大な敷地

母屋を中心に
して、文庫蔵、
廐、茶室など
の多くの建物

周囲の景観が
素晴らしい

文化財としての馬場家住宅の価値

- ・ 本棟造りの母屋（幕末 嘉永4年の建造）をはじめ、近世末期の豪農の屋敷の特徴がよく保存されている

雀おどし



案内板がいたるところにあり、見所がわかりやすく解説されていました



馬場家住宅の土墨案内 ③

馬場家住宅の周囲を取り囲んでいる土墨は、この1箇所できれていました。ここは裏門とされ、通用口として使われていました。表門は、特別の場合のみだけ使われたといわれています。

このような構造は、中世の城館跡でもよくみられ、虎口(こぐち:城門)と呼ばれています。単純な入口構造であることから、平虎口とも呼ばれます。これに対して複雑な構造の虎口は、松本城太鼓門などでみられる枡形虎口などがあります。

北側にある管理用通用口は、後世に造られたもので、本来はつながっていました。



諏訪高島藩との特別なつながり
藩主が訪問することを想定した造り

いたるところに
華麗な欄間



研修の様子

職員の方に丁寧にご説明いただきました。



自主研修参加者の感想

・ 貴重な建物を見せていただき良かったです。地域の歴史について学ぶことで、地域の良さを再発見できると思うので、ぜひ子どもたちにも今回の学びを還元したいと思います。



自主研修参加者の感想

一通り説明いただいて、その後じっくり見て回れるのがとても良かったです。昔の暮らしや、歴史に思いをはせ、この内田がとても住みやすいところだったのだろうな、と感銘を受けました。



本年度の活動

6月29日（日） 塩筑松本地区合同臨地研修
「弾誓^{（たんぜい）}上人ゆかりの寺を訪ねて」

7月30日（水） 自主研修の日
「重要文化財 馬場家住宅を訪ねて」

8月6日（水） 塩筑松本地区合同臨地研修
松本市立博物館 企画展見学
「地獄の入り口～十王のいるところ」

塩筑松本地区 合同臨地研修

中信地域には数多くの
十王が地域に残さ
れている

十王…死後の世界で
死者を審判する王・
裁判官
→地域に親しまれる
守り神

松本市立博物館特別展

地獄の入り口

ENTRANCE TO

HELL

Where the Ten Kings Are

—十王のいるところ—



会場：松本市立博物館 2階 特別展示室 | 開館時間：午前9時～午後6時(入館は午後4時30分まで)
| 閉室日：毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)
| 観覧料：特別展単独券 一般1,100円(900円)、大学生800円(700円)
常設展とのセット券 一般1,300円(1,100円)、大学生1,000円(900円)
(*)内団体20名以上料金 高校生以下無料

放光庵：十王坐像ほか【部分】

2025 7 5 sat 9 1 mon

松本市立博物館
Matsumoto City Museum



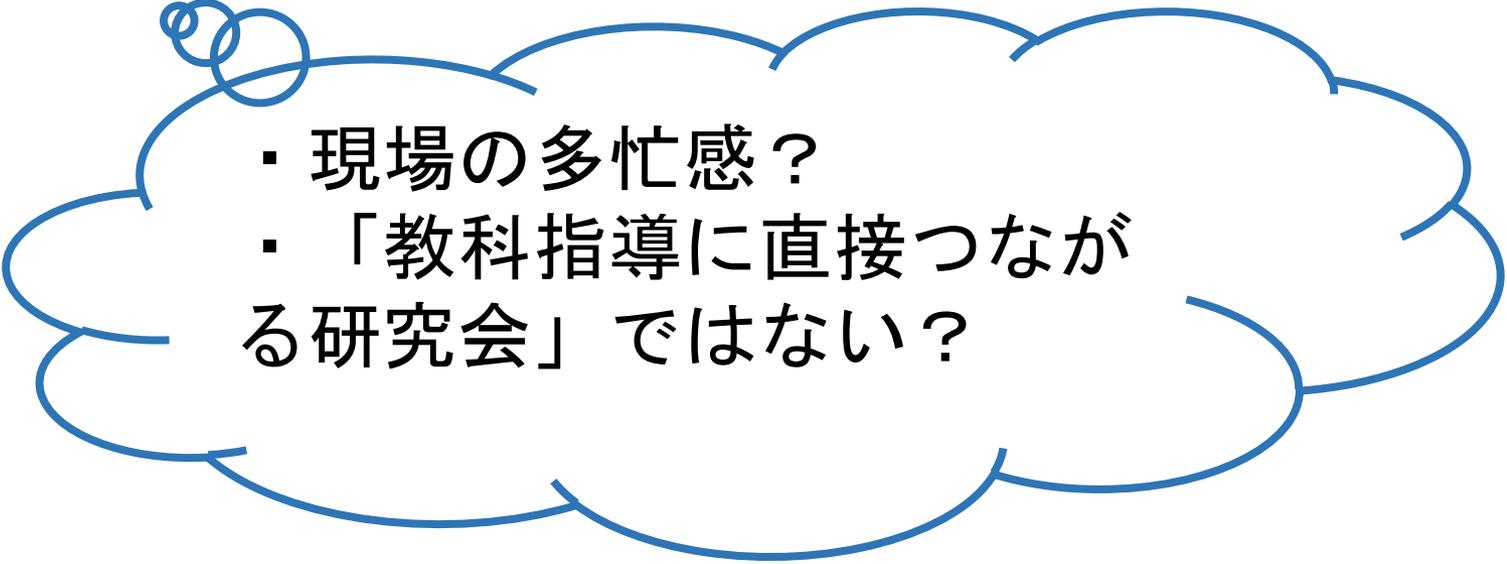
講師の後藤芳孝先生、渡邊益知先生には大変お世話になりました

活動の成果

- ・ 講師の先生方のご協力のもと、地域の文化財についてより深く知り、親しむことができた。
- ・ 研究会以外の方にも参加していただいた

文化財研究会 課題

入会者数7名 会員の減少

- 
- ・現場の多忙感？
 - ・「教科指導に直接つながる研究会」ではない？

→教科会ではない研究会が持つ価値について

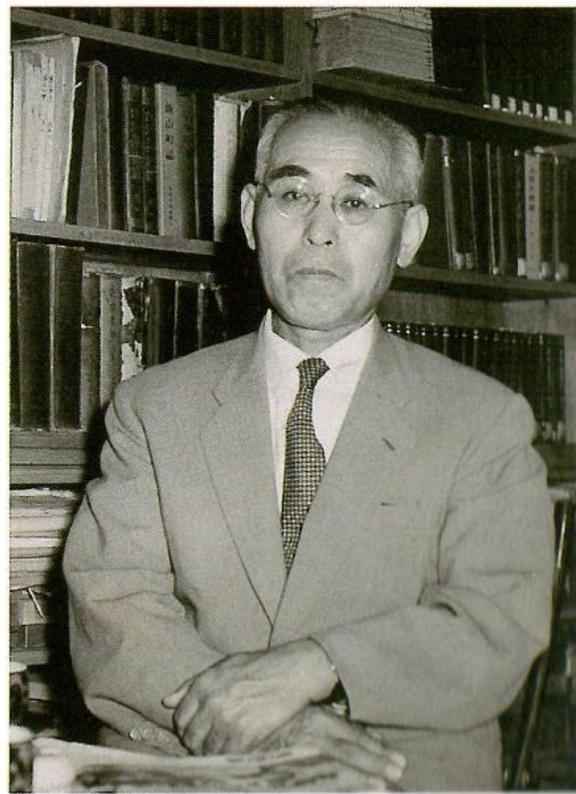
原点である長野県の先人の姿から…

- ・ 大正時代には『東筑摩郡誌』などの地誌の編纂を東筑摩教育会が中心になって行った
- ・ 手塚縫蔵先生らを中心に柳田国男との関わり 民俗学を主軸とした郷土史研究
- ・ 東筑摩教育会 西部支会では、臨地研修で「秘仏」とされていた仏像を再発見

原点である長野県の先人の姿から…



栗岩英治氏



一志茂樹氏

自ら地域に赴き、体感しながら資史料を集め、地域の歴史を明らかにする＝「わらじ史学」の伝統

文化財研究会の価値…

教師が本物の文化財に出会い、地域の歴史と文化をより深く知る・考える経験



- ・ **教育会が大切にしてきた教師の人格を磨く姿勢**
- ・ **子どもたちと共に地域の魅力を発見し、未来を考えるきっかけに**

今後の文化財研究会の活動案

①発掘調査が進む身近な遺跡を探訪

平出博物館企画展

掘ったら出た！

～床尾中央遺跡発

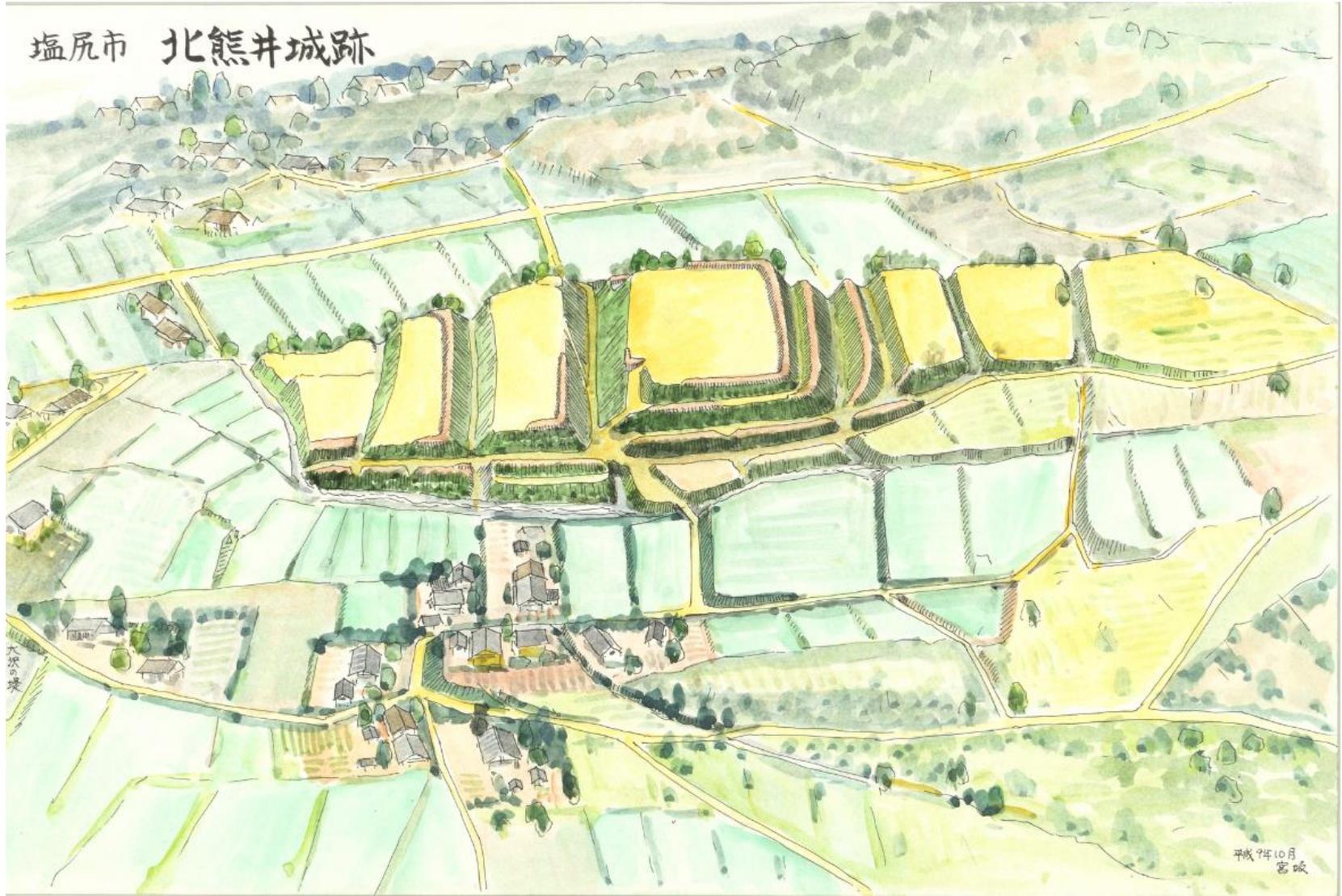
令和7年5月から12月にかけて発掘調査が行われ、70軒以上発見され、大量の土器とともに土偶も出土しています。

その成果の一部をいち早くお見せします。



今後の文化財研究会の活動案

②地域に残る古墳・山城を探訪



今後の文化財研究会の活動案

③これまで見逃されがちだった 近現代史に関わる文化財に注目

…寺社や仏像など、前近代の遺跡・遺物だけが「文化財」ではない

- ・戦後80年以上経過…高度経済成長期であっても教育現場に実体験者がいない「歴史」に

- ・『長野県史』現代編の編纂事業がスタート

例えばこんな文化財が…①



神社に残る忠魂碑や
砲弾

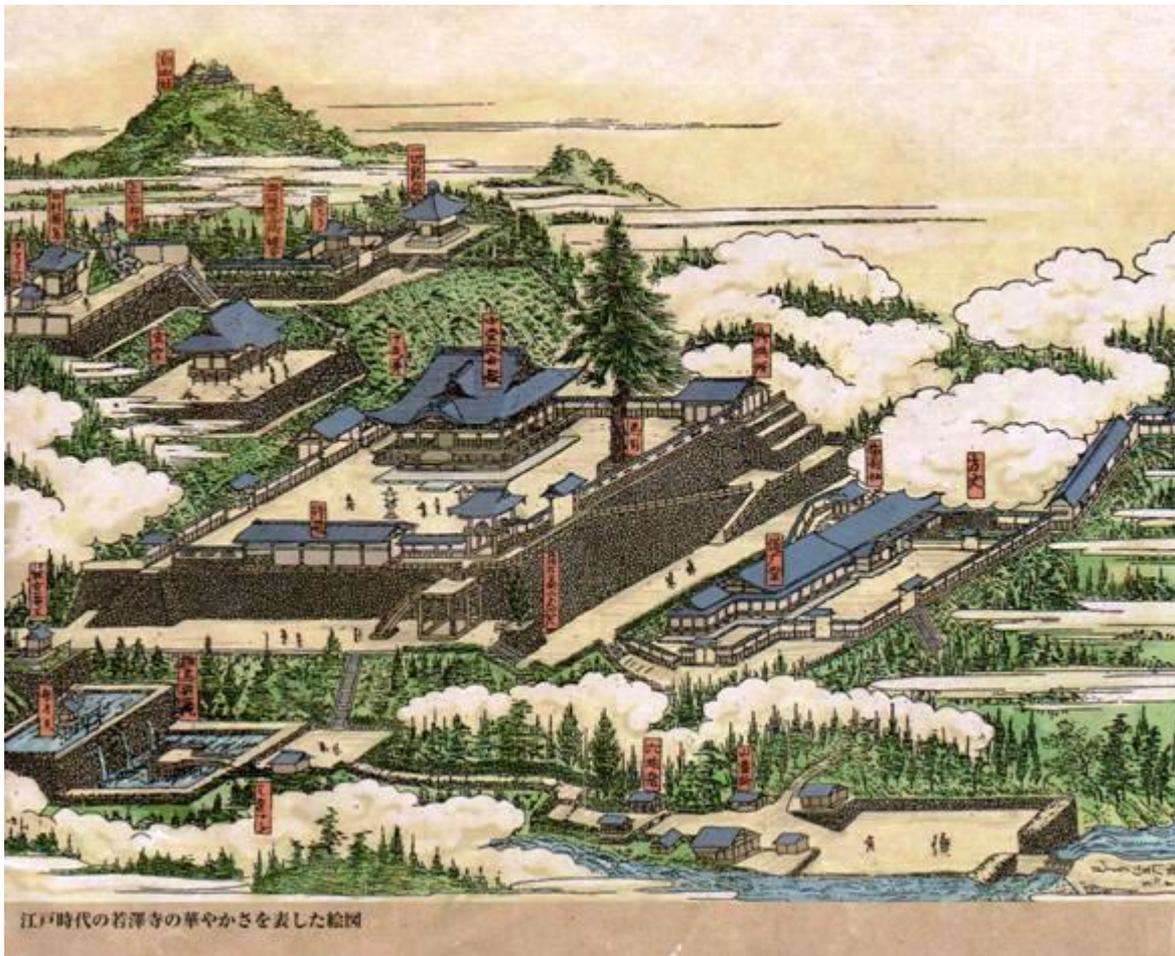
例えばこんな文化財が…②



県内最古の公民館

(塩尻市片丘地区 南内田公民館)

例えばこんな文化財が…③



江戸時代の若澤寺の華やかさを表した絵図

廃仏毀釈によっ
て失われた大寺
院 若澤寺
(にやくたくじ)





…どんな形になるにせよ、地域に目を向けて学ぶ、という姿勢を大切に活動を継続

ご静聴ありがとうございました

